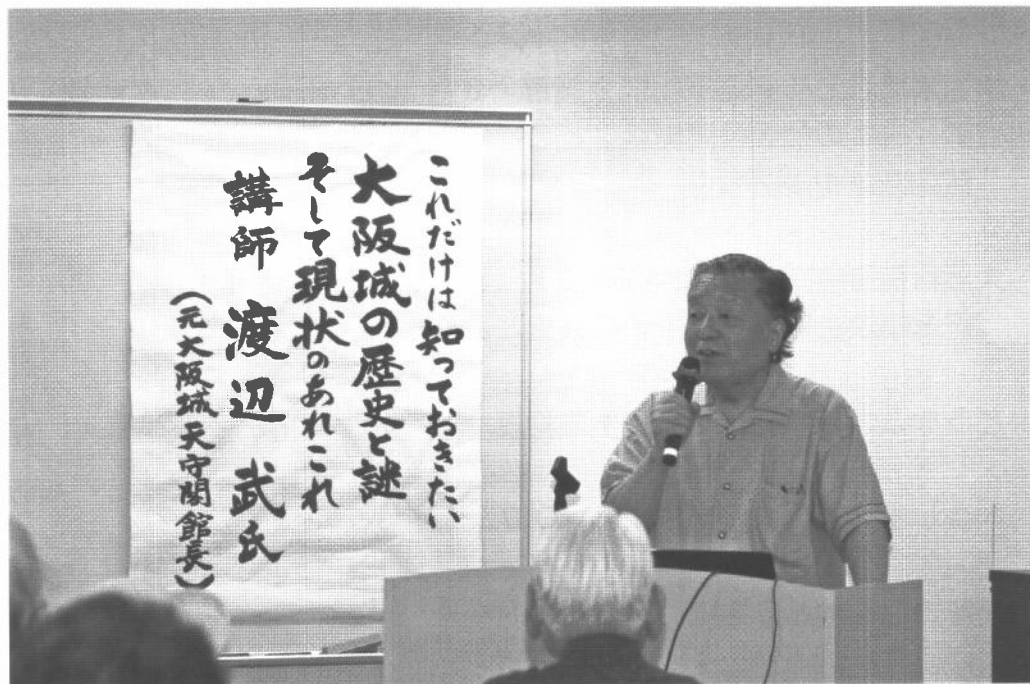


OTK



2016年6月26日、エル・おおさかにて、大阪難病連第14回総会を開催しました。

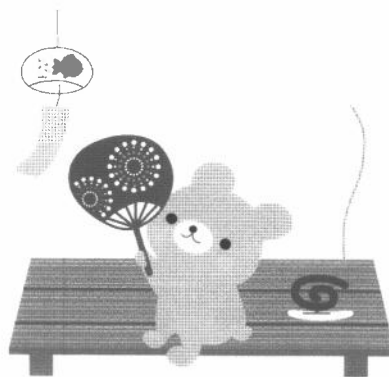
午後からの記念講演会は、元大阪城天守閣館長の渡辺武さんを講師にお越しいただき、秀吉築城大坂城はどのようなもので、夏の陣で落城した後はどうなったのか等大阪城の基礎知識についてご講演いただきました。

大阪なんれん

No.76
2016. 8.25

目 次

- ・ご案内 学習講演会と難病医療相談会 3
- ・学習講演会と難病医療相談会報告 3月20日 4 - 22
講演録「日本の社会保障制度はどこに向かうのか」
難病医療相談会報告
- ・大阪難病連第14回総会報告 6月26日 23 - 25
記念講演会報告「大阪城の歴史と謎」
- ・どうなるの？ 福祉医療費助成制度 26
- ・入会しました 大阪MS/NMOコムラード 27
- ・手をつなぐ地域の難病患者 28
- ・府民のつどい報告 29
- ・JPAの仲間とともに 30
- ・世界希少・難治性疾患の日 RDD報告 32



学習講演会と難病医療相談会

【日時】2016年10月16日(日) 午前10時15分～午後3時30分

【会場】エル・おおさか(大阪市中央区北浜東3-14)

プログラム1 学習講演会

AM10:15～12:00

「くも膜下出血を患った 精神科医の障害受容」

～認知行動療法と宗教を使って～

アウルクリニック院長

片上 徹也 先生

突然くも膜下出血を発症し左半身が完全麻痺になった精神科医が流行りの認精神療法である認知行動療法を使って社会復帰した過程や方法をお伝えします。

ご来場の皆様が少しでもハッピーに前向きになれればと思います。

入場無料

【申し込み方法】

定員の関係で必ず、往復ハガキまたはメールで予約をしてください。

住所：大阪難病連 〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-7
大阪赤十字会館8階

TEL (06) 6926-4553

メールアドレス：nanren@vesta.ocn.ne.jp

下記について書いてください。

①氏名 ②住所 ③病名 ④電話番号

⑤参加人数 ⑥参加プログラム

※参加プログラムについては、→ の()のように記入してください。

→ 講演会だけの方は(1だけ)

→ 医療相談だけの方は

(2だけ-相談内容(イ～ト))

→ 両方の場合は(1と2の相談内容(イ～ト))

定員になりましたら締め切らせていただきます。

プログラム2

難病医療相談会

PM1:15～3:30

《医療相談 PM1:15～3:30》

※会場はイ～ホにと分かれます。個人相談ではありません。

イ、「線維筋痛症」

痛みのマネジメント～リウマチから線維筋痛症まで～
社会医療法人行岡医学研究会行岡病院整形外科
史 賢林 先生

ロ、「糖尿病にともなう神経障害」

大阪市立大学医学部認知症臨床研究センター
嶋田 裕之 先生

ハ、「後縦靭帯骨化症」

～疾患の理解と新しい知見～
大阪大学大学院医学系研究科器官制御外科学
(整形外科) 武中 章太 先生

ニ、「パーキンソン病患者の歩行と靴」

川村義肢(株)製造本部 眞殿 浩之 先生

ホ、「C型肝炎の最新治療と今後の課題」

大阪労災病院消化器内科 平松 直樹 先生

《栄養相談・生活相談 AM10:30～PM3:30》

※個人相談です。

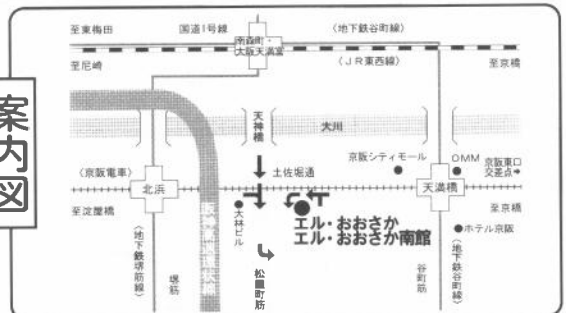
ヘ、「栄養相談」

近畿大学医学部堺病院栄養部 山下和子先生

ト、「生活相談」

社会福祉士 田澤貴至氏
社会福祉士 松本貯子氏

案内図



最寄駅

京阪電鉄「天満橋駅」又は、地下鉄谷町線「天満橋駅」下車 徒歩10分

主催 大阪府 特定非営利活動法人大阪難病連 大阪難病相談支援センター
赤い羽根共同募金支援事業

日本の社会保障制度はどこに向かうのか ～皆保険制度と難病医療をまもるためにできることはなにか



講師 寺内 順子 さん (大阪社会保障推進協議会事務局長)



寺内 順子 さん

今日のお話は、今、日本の社会保障がどのようにどうされようとしているのか、日本の国がどういう風にどっちを向いているのか、皆さん、もうよくお分かりだとは思いますが、その中に特に難病連の皆さんに医療とは切っても離すことができないですし、それと今ここで、介護保険は、私は使っていないという方がおられたとしても、親の介護であるとか、実際に高い介護保険料をとられているとかいうことがありますので、そういうことが全部関わっての私たちの暮らしですのでそういうあたりを話したいと思います。

今日は皆さんのお手元にある 2015 年 1 月に大阪社保協が発行しました『ハンドブック もう限界！これ以上払えません』を参考にお話をしたいと思います。

81 歳の花子さんと老人会メンバーは とても怒っています



2008 年に後期高齢者医療制度がスタートしました。75 歳以上の皆さんが、74 歳までと違う制度に無理矢理入れられ差別をされる。いろいろな負担が大きくなるの

ではないか、と大きな怒りが起こり、その大きな怒りが民主党政権を誕生させました。しかし、民主党の政権運営によりまた直ぐに自民党政権にもどりました。

花子さんたちは「この日本はちょっとおかしいんじゃないか」と自分の孫たちのこともすごく心配しています。

去年の夏あたりから、SEALDs (シールズ) という戦争法に反対する若い人たちが目立ってきていますけれども「若い人たちは大変なんだ」ということなんかも話をしています。

《非正規雇用・ブラック企業》

まず今、若い人たちがどうなっているのか、20 代 30 代の方は半分ぐらいが非正規雇用です。非正規ということは正規じゃなくて、厚生年金や社会保険料を企業負担してくれるような所で

働いていません。ですから、健康保険は国民健康保険になります。

社会保険というのは、企業側が半分保険料を持たないといけないのですが、企業はそれを嫌って非正規の人を社会保険に入れない。

若いから病気はしないし高い保険料は払えないということで無保険の人がたくさんいます。

それから「ブラック企業」「ブラックバイト」というのを聞いたことはありませんか。ブラックとはどんな働き方かというと、実は私の息子もそういうところで働いていたのですが、初出勤の日に信じられないことに残業があり11時に帰宅しました。そして次の日からずっと、7時に出て11時に帰ってくるという生活です。時には帰る時間が無いから車で寝るといって布団を持っていくのです。

この頃の若い人たちはものすごく真面目でこの仕事をやるまでは帰るなどと言われると帰らずに頑張るのです。

《奨学金制度》

先日、関西大学の学生さんのお話をお聞きしました。

いま、学生の半分が奨学金を使っています。昔は公務員や学校の先生になると返さなくていいという奨学金がありました、今はありません。

利子が付かないのが第一種で非常に成績が良くないとだめなんです。利子の付く第二種は最高で毎月15万円貸してくれるそうですが、15万円×12か月×4年間＝720万円そしてそれに利子が付きますので、800万円～900

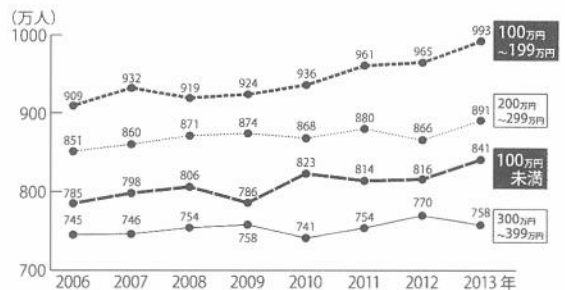
万円の借金が卒業するときに出てしまうということになります。

50年位前はかなり生活が苦しいご家庭の子が借りるというイメージの奨学金でしたが、今は現役世代全体の生活が苦しい状態なので、借りる学生が半分もいるという話を聞きびっくりしました。

働いているのにこんなに貧乏って!?

長時間労働をしているのに食べられない人がふえています。なんと、年収200万以下の勤労者が1834万人もいるのです。

年収の推移



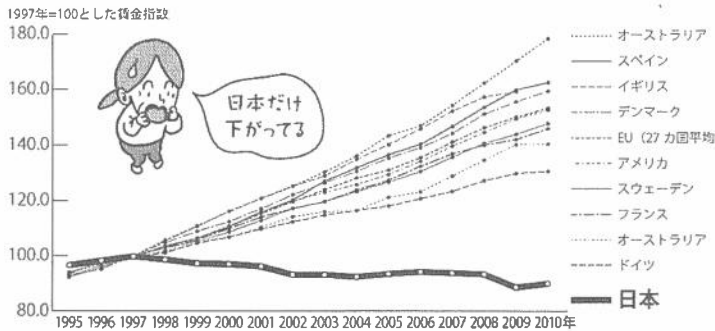
今の若い人の年収はどれくらいだと思いますか？

2013年のデータですが、100万円未満が841万人、100万～200万円が993万人ですので約2000万人が収入200万円以下です。

月に20万円あれば年収240万円ですが、月に200万円というのは、月20万円無いわけで、月16万円なんです。収入ですから、税や社会保険料が引かれる前です。

日本だけが賃金引下げの異常！！

世界中不況で労働者の賃金がへっていると思いませんか？ 実は日本だけが引下げ！ おかしくありませんか？



出所) DECO 統計より作成。民間産業計の賃金(荷問外手当・一時金含む)を物価指数で調整せず各自で示したもの。日本のデータは毎月勤労統計調査による

《高齢者問題》

去年も今年もやたらと「下流老人」「老後破産」「老人漂流社会」などという「老人の貧困」を書いた本がたくさん出ています。それは、去年から今年にかけて高齢者の貧困がものすごくクローズアップされているということです。

昔なら、低賃金で働いてたから年金が少ないということでしたが、今は普通に働いて来て年金をそこそこもらっているけど、夫婦でどちらかが介護状態になったら、一気に貧困になるとか、もらえると思っていた年金が「えっそれだけしかもらえないの？」となったりします。

その典型的な事例が、去年の夏に新幹線で焼身自殺をした方です。あの男性は無年金ではなくて、月15万円位もらっていました。でも、こんなはずじゃなかった。暮らせないと、生活相談や国保の減免の相談にも行きましたが、ちょっと預貯金を持っていたりすると「無くなるまでそれで暮らせ」と

言われるので、それで絶望して「死んでやる」と焼身自殺をしてしまったのです。

あの頃は、介護保険料とか納付書がわあっと来た時で、私の友人で大阪のある役所の介護保険課にいる人が言っていたのですが、あの時、「あの焼身自殺した人の気持ちが分かる」「いつか役所の前

で死んでやる」という人がやたら多かったと言っていました。

普通に働いて来て、普通に年金をもらっているのに年金が思ったよりも少なく「暮らせない」という状況に陥っているのが今だと思います。特に一人暮らしの人が苦しいのです。二人だったら旦那さんが会社で働いてきて、奥さんが国民年金だけど、両方たしたら25万円位になればなんとか暮らせますが、一人だったら本当に暮らせない。それに「そこそこの年金」というのが苦しいです。年金の場合、153万円までは非課税になり、月額13万円を超えると課税になります。日本は非課税になるかならないかで、色んな負担が違いますので、15万円の年金だと負担が大きいのです。どんと増えて、25万円位になるといいんですけど、男性でも15万円前後の年金の男性、それで一人暮らしだと生活がとてもしんどいという象徴的な事件であったと思います。

《子どもの貧困》

6人に一人が貧困って聞いたことがありますか？子どもの相対的貧困率は16.3%で、6人に一人になります。でもこれは「全国で」という話です。

山形大学の戸室先生という方が都道府県ごとの子どもの貧困率を計算されたのですが、大阪の場合は21.8%、つまり5人に1人、小学校で35人学級だったら7人が貧困だということです。

どういう人たちが貧困なのかというと、2012年の貧困ラインが年所得122万円、これを収入にすると年200万円位です。そこにもし子どもがいたら、まさしく「貧困世帯の子ども」ということになるわけです。

子どもの貧困を図る指標がいろいろあるのですが、ユニセフが「子どもの剥奪率」という指標を作っています。

これは普通に子どもが持っているであろう8つの品目のうち、2つ以上持っていないければ、「貧困」とするという指標で、これは国際的な指標です。

8品目とは、①本 ②野外レジャー用品 ③屋内ゲーム ④修学旅行や学校行事の参加費 ⑤宿題をするのに十分な広さと照明がある静かな場所 ⑥インターネットへの接続 ⑦新品の衣服 ⑧誕生日、クリスマスなどのお祝い…。

まぁ当たり前には持っていると思いますが、大阪の子ども達なら5人に1人の子どもがこれらの二つ以上を持っていない。

今、子ども食堂というのが東京中心に広がっています。私は大阪市生野区でこどもの支援をしている「大阪こどもの貧困アクショングループ

(CPAO)」の調理ボランティアをしています。そこにきている子ども達は、たとえば⑦新品の服を着ていることも殆どいません。季節はずれの服を着ていることが多くて、冬だけど半袖の服やペラペラのワンピース、下着をちゃんときていないとか、靴下をはいていない子が多いです。⑧誕生日、クリスマスのお祝い お誕生日のお祝いとかクリスマス、お年玉をもらっていない子どもも多いですね。

CPAOの取組の中で、私は一昨年と昨年の年末に「おせちプロジェクト」というのをやりました。おせち料理を食べたことが無い子どもやシンママ(シングルマザー)さんが殆どで、そこにおせち料理を仲間たちと作って、クール宅急便でシンママ世帯に送るというのをやりました。去年の年末は15所帯に送ったんですけど、そのお母さんたちがらお礼メールが来たんですが、「おせちというのを初めて食べました」「おせちというのを見たことないからどうやって食べたらいいのかわかりません」「ちょっときれいなお弁当箱につめました」とか。

年末年始は食品が高くなり買えなくなりますよね。普段100円で売ってる蒲鉾が紅白になって500円になるとか。あるお母さんは、「私がなにも用意できなかったので」「お正月にお腹を空かした子どもたちが色んなものがあるねと喜んでいますが」というメールもいただきました。

子どもの剥奪率は、日本は世界で18番目で、先進国では最下位です。これがいまの日本の子どもたちの状態

です。

これは私が言ってるのではなく、ユニセフが示しているのです。つまり、国際的にも「日本の子ども達はすごい貧困だよ」と言われてるということです。

《子どもの口の中から貧困が見える》

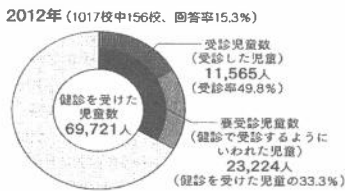
大阪府歯科保険医協会（大阪府の歯科保険医の開業医さんの団体）が、4年前から学校歯科検診調査をやっています。去年は高校まで含めてやりました。子どもたちは、4月に歯科健診を受けるのですが、その後どれだけ治療を受けて完了したかという調査を行いました。

その治療のデータでは、小学生で半数、中学生では3割しか受診をしていません。高校では1割しか受診していません。

2011年10月、「歯医者に行けない子ども、むし歯急増の陰に経済格差」（MBSテレビ「VOICE」）と題した特集が報道され、反響を呼びました。この報道を受けて大阪府歯科保険医協会が府内の子どもたちの口腔内の状況を知るために学校歯科治療調査を実施しました。結果は、学校検診で受診が必要とされた子どもたちのうち、小学校で半数、中学校では3割しか歯科医院を受診していない実態が明らかになりました。

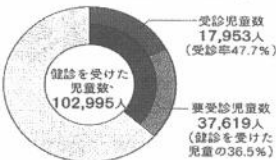
さらに深刻なことに食べ物を噛む事が困難なほど口腔内の状態が酷い、いわゆる「口腔崩壊」という状態にある子どもたちが多数いることが報告されました。小学校、中学校ともに半数以上の養護教諭が学校に口腔崩壊の子どもたちいると回答しています。

大阪の全小学校・中学校歯科治療調査（概要）

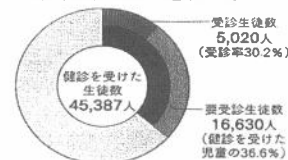


2013年

小学校 (1019校中246校、回答率23.7%)



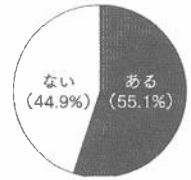
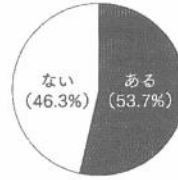
中学校 (464校中98校、回答率21.1%)



最近2~3年で口腔崩壊状態の児童に出会ったことがあるか

小学校では53.7%

中学校では55.1%



どうしてそうなるのでしょうか。

全国でいくつかの保険医協会が実施していますが、やはり同じようなデータが出ているそうです。

「6年生女子:永久歯 20本がう歯(虫歯)」「小学校2年で15本がう歯(虫歯)、多くが残根状態、給食が食べにくく担任にほぐしてもらってたべている」

もう小学校で永久歯が深刻なう歯(虫歯)ということは、もうそれで治療しないわけですから大人になったら一体口の中がどうなっているのか。

小学生は自分で歯医者さんに行けないので、親が連れて行くのですが、それができない親が多いのです。お金の問題もあるし、親自身が歯は大事と思ってない人も多し、連れて行く心の余裕も時間もない人も多いというのがあります。

そして中学生以上になるとお金の問題になります。大阪府下の自治体は、中学卒業まで医療費助成制度がある自治体が多いのですが、今、高校卒業までというのは、寝屋川と豊能と田尻町だけです。やはり、1回の診察代が払えないから歯医者に行けないという声が多いそうです。